

第 3 次かすがい男女共同参画プラン 実施状況報告書

—令和 5 年度事業実績—

春日井市

目 次

1	第3次かすがい男女共同参画プランの推進体制	1
2	第3次かすがい男女共同参画プランの施策体系	2
3	数値目標	3
4	男女共同参画施策	4
	基本目標Ⅰ 多様な生き方・働き方ができる社会	4
	基本的施策① 女性のエンパワーメントと人材活用の促進	4
	基本的施策② 政策・方針決定過程への女性の参画推進	6
	基本的施策③ ワーク・ライフ・バランスの推進	6
	基本的施策④ 家庭生活・地域生活における男女共同参画の推進	8
	基本的施策⑤ 市における男女共同参画の推進	11
	基本目標Ⅱ 誰もが安心して暮らせる社会	12
	基本的施策① 女性に対するあらゆる暴力の根絶	12
	基本的施策② 人権の尊重と困難を抱える人への支援	14
	基本的施策③ ジェンダーの視点からの防災の取組	16
	基本的施策④ ライフステージに応じた健康づくり支援	16
	基本目標Ⅲ 多様性を認め合える社会	19
	基本的施策① アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）解消に向けた啓発	19
	基本的施策② ジェンダー平等の視点に立った教育・学習の推進	20
	基本的施策③ ジェンダー平等の視点に立った表現の推進	24

1 第3次かすがい男女共同参画プランの推進体制

春日井市男女共同参画推進条例（平成15年4月施行）

<基本理念>

- (1) 男女の人権の尊重
- (2) 社会における制度又は慣行が及ぼす影響への配慮
- (3) 施策等の立案及び決定への共同参画機会の確保
- (4) 家庭生活における活動とその他の活動との両立への配慮
- (5) 国際的協調

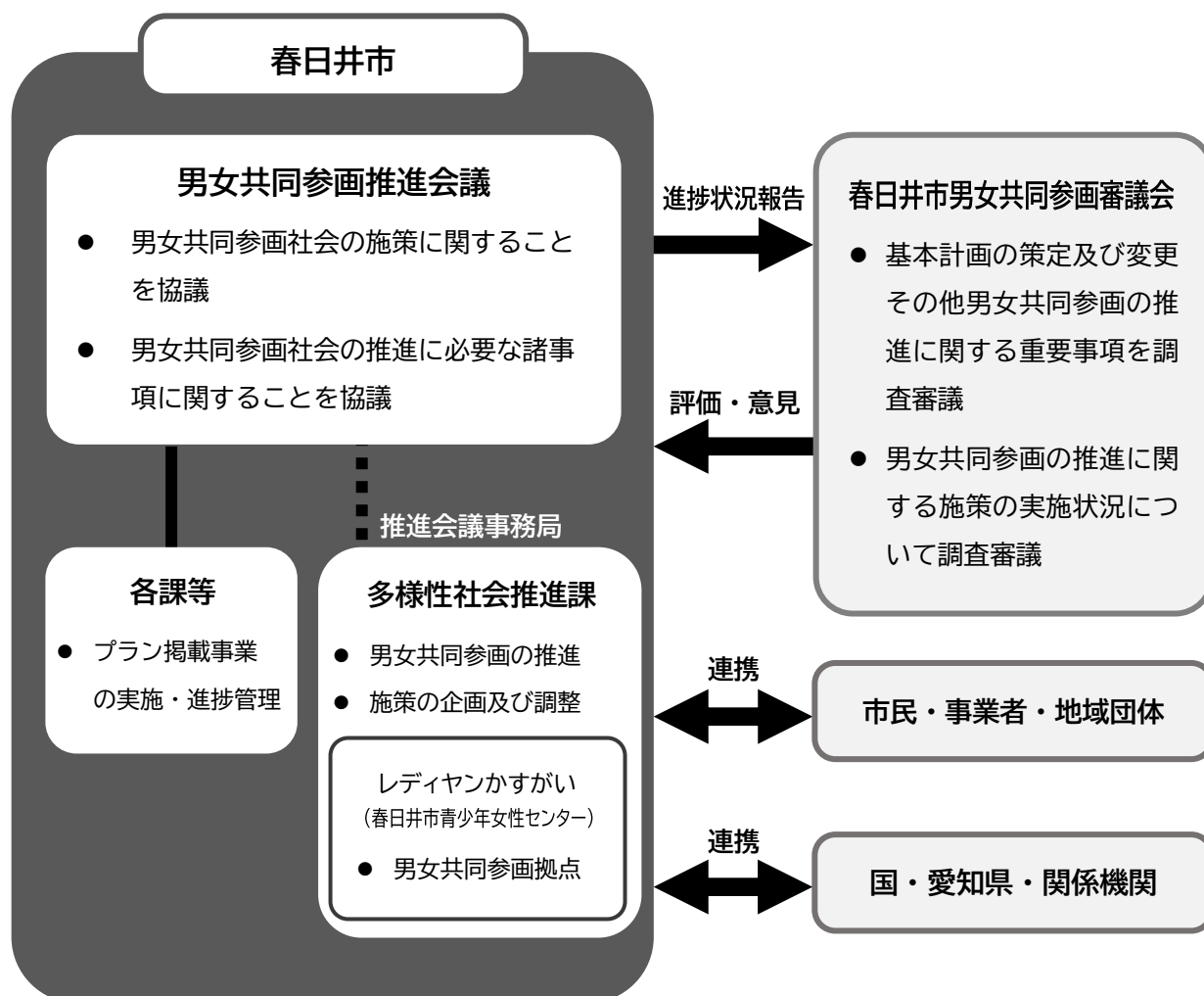
第3次かすがい男女共同参画プラン（令和4年3月策定）

<計画期間> 令和4年度から令和8年度まで

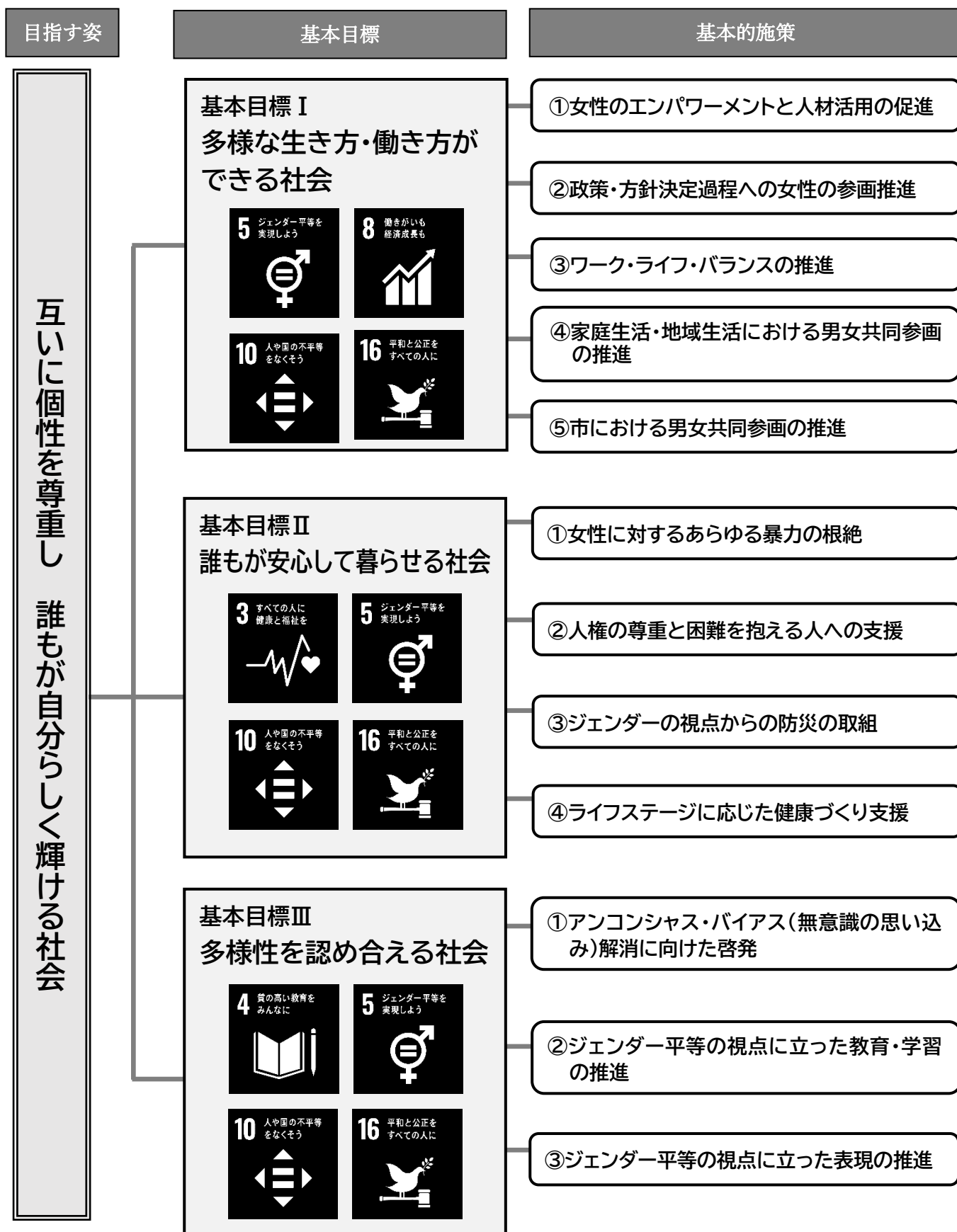
<目指す姿> 互いに個性を尊重し 誰もが自分らしく輝ける社会

- <基本目標>
- I 多様な生き方・働き方ができる社会
 - II 誰もが安心して暮らせる社会
 - III 多様性を認め合える社会

総合的に推進



2 第3次かすがい男女共同参画プランの施策体系



3 数値目標

目 標	項 目 名	プラン策定時	令和5年度	目標値
目標Ⅰ	【市民意識調査】職場において男女平等であると感じている市民の割合	16.7%	—	25.0%
	審議会等への女性の登用率	28.6%	31.3%	40.0%
	女性のいない審議会等の数	2	4	0
	【市民意識調査】地域活動の場で男女平等であると感じている市民の割合	34.2%	—	45.0%
	町内会・自治会長の女性の割合（参考指標）	14.2%	16.6%	—
	小中学校のPTA会長の女性の割合（参考指標）	26.9%	34.6%	—
	安心・安全まちづくりボニターの男女比率	女性比率26.6%	女性比率21.4%	40～60%
	【市民意識調査】ワーク・ライフ・バランスがとれていると思う市民の割合	53.6%	—	65.0%
	【市民意識調査】家事等を夫婦とも同じぐらい行っている市民の割合（該当しない、無回答を除く）	家事21.9% 育児42.0% 介護39.6%	—	家事30.0% 育児50.0% 介護50.0%
	ファミリー・フレンドリー企業に登録している市内事業所数	28社	37社	31社
	小学校区における放課後児童クラブ等設置率（子どもの家、民間児童クラブ及び児童の居場所確保事業）	94.6%	97.3%	100%
	市の管理職に占める女性の割合（一般行政職）	10.3%	14.3%	12.0%
	市男性職員の育児休業取得率	11.8%	45.0%	15.0%
	市男性職員の配偶者出産休暇取得率	77.9%	75.0%	90.0%
目標Ⅱ	【市民意識調査】最近5年間に配偶者等から何らかの暴力を受けたことのある市民の割合	16.3%	—	10.0%以下
	【市民意識調査】DV相談窓口を知っている市民の割合	30.4%	—	40.0%
	DV相談件数（参考指標）※所管課の変更に より、集計方法を件数から実人数に変更	618件	148人	—
	【市民意識調査】性的マイノリティ（LGBTQ）にとって生活しづらい社会と思う市民の割合	74.4%	—	65.0%以下
	母子・父子家庭自立相談件数（参考指標）	1,848件	2,322件	—
	乳がん・子宮がんの検診受診率	【乳がん】17.6% 【子宮がん】10.4%	（暫定値） 【乳がん】11.2% 【子宮がん】16.5%	【乳がん】50.0% 【子宮がん】50.0%
	特定健診の受診率（国民健康保険被保険者）	30.0%	（暫定値）37.8%	50.0%
目標Ⅲ	【市民意識調査】社会通念・慣習・しきたりにおいて男女平等であると感じている市民の割合	11.5%	—	20.0%
	【市民意識調査】「男は仕事、女は家庭」という考え方に反対の市民の割合（参考指標）	53.6%	—	—
	【市民意識調査】学校教育の場で男女平等であると感じている市民の割合	52.0%	—	65.0%

4 男女共同参画施策

基本目標Ⅰ 多様な生き方・働き方ができる社会

基本的施策① 女性のエンパワーメントと人材活用の促進					
No	取組	No	主な内容	令和5年度の実績	課
1	女性が働きやすい職場環境の整備	1	職場における男女の均等な機会・待遇の確保のための講座の実施や情報の提供	【セミナーの開催】 ・愛知県、春日井商工会議所と共催で「中小企業のための女性活躍推進セミナー」を開催 参加者 97 名 【情報提供、啓発】 ・関係機関の情報をホームページに掲載 女性応援ポータルサイト、仕事と育児カムバック支援サイト、わたしと起業.com、あいちマザーズハローワーク、財団法人 21 世紀職業財団、ハローワーク春日井 【情報提供】 ・ハラスメントのない職場づくりをテーマとした、講師派遣事業の案内チラシなど、各機関の情報を窓口に設置し周知	多様性社会推進課
		2	職場復帰研修などの実施や情報の提供	【情報提供】 ・「女性の活躍促進マニュアル」など、職場復帰の際に活用できる各機関の情報やパンフレットを窓口に設置し周知	経済振興課
		3	労働に関する各種相談の実施と窓口の周知	【労働相談の実施】 ・年 10 回実施（第 1 水曜日 午後 1 時から 4 時まで） ・相談員は、愛知県から派遣 【相談窓口の周知】 ・労働に関する相談に対応 ・愛知労働局の労働基準監督署やハローワークへの案内	市民生活課
				【雇用対策協定の締結】 ・令和 4 年 2 月 1 日に雇用対策協定を締結 ・令和 4 年 4 月 1 日から雇用対策協定に基づく事業計画を実施、実施事業の情報を各利用者に提供	経済振興課
		4	愛知労働局（ハローワーク春日井）との雇用対策協定の締結	【協定の周知】 ・女性の労働を適切に評価し、主体的に農業経営に参画でき、意欲と能力を存分に発揮できる環境を整備するため、周知	多様性社会推進課、経済振興課
2	商工業・農業などの自営業における女性の活躍促進	1	家族経営協定などの周知	【セミナーの開催】 ・女性のためのキャリアアップ講座（3 回）延べ受講者 32 名 キャリアビジョン、ビジネスコミュニケーションを学ぶ ・女性のための起業応援セミナー（6 回）延べ受講者 143 名 起業に必要な知識の獲得、受講生同士のネットワークの構築、事業計画書の作成 【ネットワークづくり支援】 ・起業応援セミナー受講生フォローアップ会の開催（計 2 回） ・市ホームページから関係機関のページへリンク あいち女性の活躍促進応援サイト、ほか 1－1 参照 【ネットワークづくり支援】 ・女性創業者等に創業塾や創業セミナーを案内し、ネットワークづくりのできる場を紹介	農政課
		3	女性経営者、女性従業員のネットワークへの支援	【セミナーの開催】 ・女性のためのキャリアアップ講座（3 回）延べ受講者 32 名 キャリアビジョン、ビジネスコミュニケーションを学ぶ ・女性のための起業応援セミナー（6 回）延べ受講者 143 名 起業に必要な知識の獲得、受講生同士のネットワークの構築、事業計画書の作成 【ネットワークづくり支援】 ・起業応援セミナー受講生フォローアップ会の開催（計 2 回） ・市ホームページから関係機関のページへリンク あいち女性の活躍促進応援サイト、ほか 1－1 参照 【ネットワークづくり支援】 ・女性創業者等に創業塾や創業セミナーを案内し、ネットワークづくりのできる場を紹介	多様性社会推進課
				【ネットワークづくり支援】 ・女性創業者等に創業塾や創業セミナーを案内し、ネットワークづくりのできる場を紹介	経済振興課

3	安全・安心で環境にやさしいまちづくりへの女性の参画拡大	1	女性活動団体と連携した環境活動の実施	【ポイ捨て・ふん害防止推進市民協議会】 ・春日井市婦人会協議会、春日井さくらライオンズクラブ等 17 団体で構成、啓発・清掃活動を実施 ・JR 駅周辺（4 回）延べ参加数 39 団体 154 名 ・落合公園等（1 回）参加数 41 団体 350 名 【生ごみ減量講座（市民対象）】 （5 回） ・春日井市婦人会協議会に講師を依頼、参加者数 52 名	ごみ減量推進課
		2	女性の視点を生かした地域の安全なまちづくり活動の実施	【安全・安心まちづくりポニター】 ・加入者 257 名（内女性 55 名）で防災・防犯の分野の活動を実施 ・市内の 1 年生を対象に実施する「こども防犯教室」など 【春日井安全・安心まちづくり女性フォーラム実行委員会】 ・8 名の女性で組織 ・小学校、幼稚園、保育園、子どもの家等に対して、子どもの安全意識啓発活動を実施 【春日井駅前防犯ステーション運営協議会】 ・加入者 40 名（内女性 4 名） ・春日井駅前の防犯ステーションを防犯拠点として、見守り活動等の安全意識啓発活動を実施 【子ども応援団による「大人が変われば子どもも変わる」運動】 ・713 名（女性 364 名、男性 349 名）で活動	市民安全課
					子育て推進課
4	女性のチャレンジ支援	1	就業支援や職業訓練のための情報の提供	【講座の開催】 ・女性のためのキャリアアップ講座 2－3 参照 【情報提供】 ・就業支援や職業訓練を実施しているハローワークを案内	多様性社会推進課
					経済振興課
		2	女性のキャリアアップのための講座の開催	【講座の開催】 ・女性のためのキャリアアップ講座 2－3 参照	多様性社会推進課
		3	就業・起業に関する講座の開催や支援窓口の周知	【相談会等の実施】 ・ママ・ジョブ・あい出張相談（1 回） 相談者 5 名 ・レディヤン講座「簿記 3 級をめざして」（全 12 回） 受講者 19 名（男性 0 名、女性 19 名） ・女性のための起業応援セミナー 2－3 参照 【情報提供】 ・創業時に受けることが出来る支援を HP を通じて情報提供 ・創業支援利子補給補助金 66 件 3,877,684 円（うち女性 14 件 738,176 円） ・新規創業補助金 28 件 12,064,044 円（うち女性 15 件 6,197,798 円）	多様性社会推進課
					経済振興課
		4	デジタル人材の育成と学び直しのための講座の開催	【セミナーの開催】 ・テレワーク入門セミナー（全 3 回）延べ受講者 44 名（女性対象） 情報発信に不可欠なツールとなった LINE を仕事につなげる活用方法を学ぶ 【講座の開催】 ・シニアのためのスマホ活用講座 受講者 19 名（女性 12 名、男性 7 名） 【講座の開催】 ・「初めてのスマートフォン(android)初心者編」～自分の生活スタイルで便利に使いこなそう！～（1 回）	多様性社会推進課
					味美ふれあいセンター
					高蔵寺ふれあいセンター

				受講者 15 名（女性 11 名、男性 4 名）	
				【講座の開催】 ・スマートフォンを活用しましょう（4 回）受講者 10 名（女性 9 名、男性 1 名） ・スマートフォン（アンドロイド）応用編（4 回）受講者 10 名（女性 5 名、男性 5 名）	南部ふれあいセンター
5	男女共同参画を推進する人材の育成	1	人材育成セミナーへの派遣	【人材派遣】 ・人材育成セミナー修了生の名簿を整備し、他課からの問い合わせに活用	多様性社会推進課
		2	男女共同参画推進人材の活用	【ボランティア人材の活用】 ・女性の居場所づくりとしてボランティアが「レディヤンかすがい親子ひろば」を月 1 回開催 延べ参加者 179 組	多様性社会推進課

基本的施策② 政策・方針決定過程への女性の参画推進

No	取組	No	主な内容	令和 5 年度の実績	課
6	審議会などへの女性委員の積極的登用	1	女性委員登用に向けた関係課調整	【各種審議会等における女性の登用状況】 ・女性登用率 31.3%（令和 6 年 3 月 31 日現在） ・事前協議件数 80 件	多様性社会推進課
		2	人材リスト整備と登用に向けた活用の推進	【人材リストの整備】 ・女性の人材情報を収集・整理 ・人材リストへの登録及び人材情報の提供に努めた	多様性社会推進課
7	事業者などへの女性の参画促進・啓発	1	女性の活躍推進セミナーの開催	【セミナーの開催】 ・中小企業のための女性活躍推進セミナー 1－1 参照	多様性社会推進課
		2	女性活躍に関する情報の提供	【情報提供】 ・「女性の活躍促進マニュアル」など、各機関の情報やパンフレットを窓口を設置し周知	経済振興課
		3	企業における女性の職業能力の開発・向上の取組に対する支援	【助成の実施】 ・次の研修を受講したのに対し、助成を実施（研修メニューの中に女性のキャリアアップに関する内容あり） ①独立行政法人中小企業基盤整備機構中部本部人材支援部の実施する中小企業者研修 ②中部職業能力開発促進センターの能力開発セミナー ③国、県等の公的機関が実施する研修 ④商工会議所又は商工会が実施する研修 ⑤公的研修の実施機関以外が実施する研修 ・助成件数 454 件、受講者 708 名、助成額 6,584,000 円	企業活動支援課

基本的施策③ ワーク・ライフ・バランスの推進

No	取組	No	主な内容	令和 5 年度の実績	課
8	働き方改革の推進	1	多様な働き方や育児・介護休業法等に関する情報の提供	【啓発】 ・ワーク・ライフ・バランス啓発パンフレットの活用 ・男女共同参画情報紙「はるか」での啓発記事の掲載 インタビューを掲載し、多様な働き方について啓発 ・広報春日井 11 月号特集と市政だよりでワーク・ライフ・バランスについて啓発 ・愛知県学校事務職員組合愛日支部春日井市分会でのワーク・ライフ・バランスセミナーの開催 受講者 61 名 【情報提供】	多様性社会推進課

				・テレワーク・SOHOなどの情報収集に努め、関連するイベント等チラシを設置	
				【情報提供】 ・改正育児・介護休業法の内容についてHPを通じて情報提供 【啓発、情報提供】 ・HPにおいて「春日井カエル企業」としてワーク・ライフ・バランス等への取組を行った企業の実例を紹介し周知	経済振興課
9	事業者などに対する啓発と取組への支援	1	一般事業主行動計画の策定の促進	【情報提供】 ・厚生労働省が作成した一般事業主行動計画策定のためのサポートに関するチラシなど、各機関の情報を窓口に設置し周知	多様性社会推進課、経済振興課
		2	ワーク・ライフ・バランスについて経営者・管理職への啓発と情報提供	【啓発】 ・男女共同参画情報紙「はるか」を事業者配布し啓発	多様性社会推進課
				【啓発、情報提供】 ・HPにおいて「春日井カエル企業」としてワーク・ライフ・バランス等への取組を行った企業の実例を紹介し周知	経済振興課
		3	ファミリー・フレンドリー企業、えるぼし認定企業の取組紹介	【セミナーの開催】 ・中小企業のための女性活躍推進セミナー 1－1 参照	多様性社会推進課
				【啓発、情報提供】 ・ファミリー・フレンドリー企業の一覧を市ホームページに掲載 市内 37 社 ・HPにおいて「春日井カエル企業」としてファミリー・フレンドリー企業に登録している企業の実例を紹介し周知	経済振興課
4	えるぼし認定企業等の入札制度優遇措置の実施	【入札制度優遇措置の実施】 ・対象工事 3 件（土木 2 件、建築 1 件）	総務課		
10	子育て・保育サービスの充実	1	ファミリー・サポート・センターにおける支援の実施	【ファミリー・サポート・センターによる支援】 ・会員数 579 名（依頼会員 364 名 援助会員 107 名 両会員 108 名） ・サポート件数 1,826 件 ・講習会 年 6 回開催、フォローアップ研修 年 1 回開催	子育て子育て総合支援館
		2	放課後等デイサービスの実施	【放課後等デイサービス事業所での支援】 ・市内放課後等デイサービス事業所 74 か所 ・利用者数 延べ 10,599 名（令和 6 年 2 月まで）	障がい福祉課
		3	さまざまな保育ニーズに対応するサービスの提供	【保育の実施】 ・0～2 歳児保育 72 園で実施 利用児童数 2,447 名 ・延長保育 48 園で実施 延べ利用数 4,850 名 ・特別支援保育 25 園で実施 利用数 327 名 ・特定保育 1 園で実施 延べ利用数 49 名 ・一時保育 11 園で実施 延べ利用数 4,518 名 ・休日保育 3 園で実施 延べ利用数 315 名 ・病後児保育 2 施設で実施 延べ利用数 128 名	保育課
		4	放課後児童の居場所の確保	【放課後児童クラブ等の実施】 ・子どもの家 34 か所 ・民間児童クラブ 20 か所 ・児童の居場所確保事業 1 か所	子育て推進課

				【放課後事業の実施】 ・放課後なかよし教室の開設 市内小学校 36 校（平日の授業終了から午後 4 時 30 分まで） 対象児童 小学 1 から 6 年生（登録制 毎年更新） 登録者数及び登録率 2,938 名 17.8 % ・サマー・スクールかすがいの開設 市内小学校 10 校（夏休み期間（土日祝、8 月 10 日～16 日、開設校の出校日は休み）午前 8 時から午後 4 時 30 分） 対象 小学 1 から 6 年生（登録制）、利用者数 691 名	学校教育課
		5	託児付講座の開催	【託児付講座の開催】 ・レディヤン講座「子育て講座～我が子との出会いを大切にしたい～」はじめ 3 講座、男女共同参画セミナー「パパの写真が家族を笑顔に パパ写真セミナー」、かすがい男女共同参画市民フォーラムで実施 託児数 11 名 【託児付講座の開催】 ・和紙で作る「パフェ」、ハロウィンを楽しむアイシングクッキー 託児数 3 名 【託児付講座の開催】 ・心と身体を健康に！やさしいヨガ、ママへのご褒美！オシャレ講座、ナチュラルで今どき顔になれる、美眉レッスン 託児数 6 名 【育児講座の開催】 ・全 3 回 ・受講者 合計 28 名	多様性社会 推進課 中央公民館 東部市民セ ンター 子育て子育 ち総合支援 館
11	介護サービス・介護予防サービスの推進	1	介護保険制度やサービスの周知と利用促進	【介護保険制度の利用促進】 ・要介護認定申請件数 11,832 件・・・① ・要介護認定者 15,205 件・・・② ・サービス受給者数 13,256 件・・・③ ・認定者利用者割合(③/②) 約 87.2 % 【インターネットや冊子による情報提供】 ・介護保険制度の周知	介護・高齢福祉課
		2	家族介護支援サービスの推進	【ハートフルケアセミナーの開催】 ・2 回（1 講座 3 日間） ・受講者 75 名（女性 56 名、男性 19 名）	地域共生推進課
基本的施策④ 家庭生活・地域生活における男女共同参画の推進					
No	取組	No	主な内容	令和 5 年度の実績	課
12	男女共同参画の視点を取り入れた地域活動の促進	1	区・町内会・自治会への男女共同参画推進に関する啓発	【啓発の実施】 ・男女共同参画情報紙「はるか」の回覧 ・男女共同参画出前講座の周知	市民生活課、多様性社会推進課
		2	男女共同参画を推進する団体への支援	【補助金の交付】 ・女性活動団体への補助金の交付	多様性社会推進課

		3	市民活動団体、NPOとの連携	【ささえ愛センターまつりの開催】 ・男女が地域を支える一員として多様なボランティア活動・市民活動に参加できるよう啓発 ・参加団体 41 団体、来場者数 3,300 名 【情報提供や支援】 ・利用者数 38,733 名（集会室利用者含む） ・市民活動支援センター登録団体数 210 団体 ・かすがい市民活動情報サイト登録数 132 団体 ・ボランティア相談 相談日時 火～金曜日 午前9時～午後5時 相談件数 1,705 件 ・市民活動・NPO 相談 相談日時 火～日曜日 午前9時～午後5時 相談件数 112 件 【市民交流会議委託セミナー】 ・「市制 80 周年に考える 20 年度の私たちの未来」 受講者 14 名（10 団体） ・NPO 法人、市民活動団体のための「インボイス制度と電子帳簿保存法」講座 受講者 14 名（8 団体） ・グッドデザインで社会を変える「おてらおやつクラブの活動」 受講者 23 名（17 団体） ・NPO 法人認証数 63 団体（令和 6 年 3 月末現在）	市民活動支援センター
				【第 22 回かすがい男女共同参画市民フォーラムの開催】 ・市民団体等で実行委員会を構成し、企画から運営まで実施 ・テーマ 誰もが自分らしく輝ける社会のつくり方 ・内容 講演会、パネルディスカッション、作品展示 ・来場者 500 名	多様性社会推進課
				【地域の活性化に繋ぐことができるよう、地元店主が講師となる講座を実施】 ・「若旦那と楽しむ、和文化ワークショップ」 受講者 15 組 31 名（女性 12 名、女兒 10 名、男性 3 名、男児 6 名） ・「プロカメラマンに聞く、ビデオカメラ撮影講座」 受講者 4 名（女性 2 名、男性 2 名） ・「はじめてさん」のためのデジタル一眼カメラ入門 受講者 27 名（女性 15 名、男性 12 名）	味美ふれあいセンター
				【NPO との連携講座の開催】 ・親子ふれあい体操（全 8 回× 2）受講者 42 組 83 名（女 61 名、男 22 名）	知多公民館
				【講師の依頼】 ・シニアのための持ち込みパソコン教室（6 回） 受講者 12 名（女性 5 名、男性 7 名）	東部市民センター
				【第 43 回 福祉のつどいの開催】 ・全ての市民が相互理解を図り、誰もが尊重される社会を実現するため、市民が交流する機会を提供 ・参加団体 30 団体、来場者数 7,755 名 【情報提供や支援】 ・ボランティアセンター登録団体数 122 団体 ・メールマガジンの配信件数 22,415 件 ・ボランティア相談 相談日時 火～金曜日 午前9時～5時 相談件数 866 件	社会福祉協議会

			【ボランティア育成】 ・青少年ボランティアスクール 受講者 33 名（男性 9 名 女性 34 名） ・オトナのボランティアスクール 受講者 6 名（男性 3 名 女性 3 名）	
		4	PTA 連絡協議会への支援 【PTA 連絡協議会への支援】 ・子どもの健全な育成を図るため、学校・家庭・社会の教育的役割の分担、子どもの校外生活指導の強化、教育環境の改善等の団体活動、各校単位の PTA が行う子どもの安全を図るための事業に助成 ・会員数 24,672 名	学校教育課
13	男性の主体的な家事・育児・介護の促進	1	男性の家事・育児・介護能力向上のための講座開催 【家事育児能力向上講座の開催】 ・男女共同参画セミナー「えがお先生のパパ写真セミナー」の開催 受講者 8 名 ・レディヤン講座の開催 「男性の料理塾」（3 回）、「子育て講座～我が子との出会いを大切にしたい～」、「スッキリ快適！住まいの整理術」 - 総受講者 44 名（男性 30 名）	多様性社会推進課
			【家事育児能力向上講座の開催】 ・ホテルプラザ勝川 presents 男の料理塾 受講者 5 名	味美ふれあいセンター
			【家事育児能力向上講座の開催】 ・超簡単！ボウル 1 つで作るパン作り（6 回）受講者 16 名（女性 16 名、男性 0 名） ・親子で体験！楽しい手打ちそば作り① 受講者 6 組 12 名（女性 6 名、男性 0 名、女兒 5 名、男児 1 名） ・親子で体験！楽しい手打ちそば作り② 受講者 7 組 14 名（女性 7 名、男性 0 名、女兒 3 名、男児 4 名） ・ミルキーなホワイトチョコクリスマスケーキを作ります 受講者 10 名（女性 10 名、男性 0 名） ・親子で季節のスイーツ作り（3 回） 受講者 8 組 16 名（女性 7 名、男性 1 名、女兒 4 名、男児 4 名）	南部ふれあいセンター
			【家事育児能力向上講座の開催】 ・ウィークエンド男子ごはん～黄金比のたれでカンタン肉じゃがづくり～ 受講者 5 名（女性 2 名、男性 3 名） ・手軽で気軽な定番中華～カンタンアレンジのエビチリと中華おこわづくり～ 受講者 16 名（女性 14 名、男性 2 名） ・週末はパスタ講座～意外にも秋が旬！しらすのペペロンチーノづくり～ 受講者 9 名（女性 7 名、男性 2 名） ・週末はイタリアンで～魚の香草パン粉焼きと春野菜のパスタづくり～ 受講者 14 名（女性 11 名、男性 3 名）	坂下公民館
			【家事育児能力向上講座の開催】 ・おやじの料理講座「基本のポテトサラダと激ウマ！手羽元のオイル揚げ」 受講者 13 名（女性 2 名、男性 11 名） ・おやじの料理講座「至高のチキン南蛮」 受講者 14 名（女性 0 名、男性 14 名） ・おやじの料理講座「フライパン 1 つで作る定番ビストロ料理」 受講者 20 名（女性 1 名、男性 19 名）	東部市民センター

			・おやじの料理講座「キャンプ場でも作れる魚のチーズサグソース」受講者 12名（女性2名、男性10名）	
			【家事育児能力向上講座の開催】 ・児童センター「お父さんといっしょ」2回 延べ受講者 48名 ・グループふじとう児童館「おとうさんと遊ぼう」、「パパのためのわらべうたマッサージ」2回 延べ受講者 79名	子育て推進課
			【家庭育児能力向上講座の開催】 ・育児講座「家族で遊ぼう」全3回 受講者 210名 ・ファミリークッキング 全2回 受講者 12組 24名 ・パパとクッキング 全2回 受講者 12組 24名	子育て子育て総合支援館
	2	『おとう飯』を通じた啓発	【啓発】 ・市長のおとう飯サポーター就任（継続） ・市長がサボテン料理を作る動画を配信	多様性社会推進課

基本的施策⑤ 市における男女共同参画の推進

No	取組	No	主な内容	令和5年度の実績	課
14	働き方の見直しに向けた取組	1	時間外勤務の縮減	【時間外勤務の縮減】 ・職員の時間意識を高めるため、パソコンへの定時警告を表示 ・毎月の時間外勤務時間数の動向を確認しながら、要因の検証を求めるとともに、長時間労働者に対する健康相談の活用や産業医による面接指導を実施 ・人員配置の適正化の一環として、育児休業中の職員代替に係る正規職員の配置を計画的に推進するために採用者数を拡大	人事課
		2	休暇の取得の促進	【休暇の取得の促進】 ・取得日数の拡大、連続取得のための機運づくりを目的として、年次有給休暇の取得を促す通知を発出	人事課
		3	多様で弾力的な働き方の推進	【在宅勤務及び時差出勤の推進】 ・子育て・介護ガイドブックにより周知し、運用	人事課
15	仕事と家庭生活との両立のための取組	1	妊娠・出産等への配慮	【妊娠・出産等への配慮】 ・子育て・介護ガイドブックにより広く制度を周知 ・職員が安心して制度利用できるよう、育児休業中の職員の正規代替を拡充	人事課
		2	育児・介護に係る休業等を取得しやすい環境整備	【環境の整備】 ・子育て・介護ガイドブックにより広く制度を周知 ・安心して制度利用できるよう育児休業中職員の正規代替を拡充	人事課
		3	固定的な性別役割分担意識等の是正のための取組	【研修や相談の実施】 ・ハラスメント防止に向け、新任課長補佐・主査対象の基礎知識研修及び管理職員向け研修を実施 ・「春日井市職場における苦情相談処理制度に関する要綱」を整備し、職員の相談に随時対応。また、課内研修などの活用資するよう、庁内LANに「春日井市職員の職場におけるハラスメント防止指針」を掲載	人事課
16	能力適性の発揮に向けた取組	1	有為な人材の確保	【インターンシップ等の実施】 ・市職員を志望する人材の裾野の拡大に資するよう、市の業務に触れる機会を設けるため、インターンシップを実施 ・内定者の就職に対する不安を払拭し、当市への就職希望をより強く持つってもらうため、内定者交流会を実施	人事課

		2	キャリア形成に対する支援	【研修の実施】 ・将来のありたい姿を意識づけられるよう、3級在級3年目の職員を対象にキャリアデザイン研修を実施 ・多様な職務経験の機会を提供する視点に立ったうえで、自己申告書を参考にしながら、人事異動を実施	人事課
		3	意欲と能力に応じた登用の促進	・令和6年4月1日付け人事異動において、次のとおり行政職の女性職員を課長補佐級以上の職位に登用した。 【登用状況】 ①課長級：1名（東部市民センター） ②課長補佐級：8名（戸籍住民課、健康増進課、介護・高齢福祉課、障がい福祉課、こども家庭支援課（2名）、医療連携室、監査課）	人事課
17	市関連施設の環境整備	1	多目的トイレ（男女共用トイレ）の充実	【案内の充実】 ・各フロアトイレに最寄りの男女共用トイレ（多目的トイレ）の位置を表示	総務課

基本目標Ⅱ 誰もが安心して暮らせる社会

基本的施策① 女性に対するあらゆる暴力の根絶

No	取組	No	主な内容	令和5年度の実績	課
18	DV に対する正しい知識の普及・啓発	1	講座やパンフレット等による市民への啓発	【啓発の実施】 ・相談カードの設置 市内公共施設、銀行、市内医療機関（産婦人科）、幼稚園、スーパー、市内警察署、ハローワーク、郵便局等 ・女性に対する暴力をなくす週間に合わせ、市内公共施設の巡回展示、パープルライトアップの実施 ・NPO 法人あいちかすがいっこ主催の「ママの文化祭」に出展し、女性に対する暴力防止のシンボルであるパープルリボンで装飾したツリーを設置し、相談窓口案内カードや子どもに対する性暴力に関するパンフレットを配布	多様性社会推進課
				【啓発の実施】 ・DV についてのパンフレットを配付し、正しい理解を普及 ・DV の出前講座について周知	学校教育課
		2	デートDV 防止のための若年層への教育・啓発	【若年層への啓発の実施】 ・市内高等学校1年生へのパンフレットの配布 2,535部 ・若年層の性暴力防止予防月間に合わせ、広報4月号に啓発記事を掲載、公共施設にポスターを掲示、図書館とレディヤンかすがいで図書展示 【出前講座の実施】 ・春日井工科高等学校 延べ受講者 20名 ・春日井高等学校定時制課程 受講者 60名	多様性社会推進課
				【若年層への啓発の実施】 ・DV についてのパンフレットを配付し、正しい理解を普及 ・DV の出前講座について周知	学校教育課
19	DV 相談体制の構築	1	一人ひとりの状況に応じた相談の実施	【DV 相談（電話、面接、メール）】 ・相談希望者の状況に応じ個別対応実施。実人数 148名（女性138名、男性10名）	地域共生推進課
				【相談支援事業の実績】 ・障がい者生活支援センターでの相談対応において、DV やその疑いのある方の相談に対して対応	障がい福祉課

		2	相談員の資質向上とメンタルケア	【県実施の研修参加】 ・年2回の市町村女性問題相談員・窓口担当者実務研修に出席	地域共生推進課
20	DV 被害者の保護及び自立支援	1	被害者情報の保護	【被害者情報の保護】 ・住民基本台帳の閲覧等の制限を実施 ・支援措置管理システム活用やリスト作成により情報を共有 ・被害者及び同伴家族の個人情報の保護を徹底し、漏洩を防止 【住民基本台帳事務における支援措置】 ・住民基本台帳における支援措置延長に係る意見付記 88 件（女性 80 件、男性 8 件）	戸籍住民課、地域共生推進課始め関係各課
		2	保護機関との連携、措置等の実施	【保護機関との連携】 ・保護機関と連携し、保護等が必要な被害者を支援	地域共生推進課
				【母子生活支援施設への措置】 ・新規措置件数 3 件	こども家庭支援課
		3	緊急一時的な避難の支援	【体制の整備】 ・保護先の決定に時間を要する被害者の緊急一時的な避難支援体制を整備 ・支援の実績はなし	地域共生推進課
		4	生活再建への支援	【加入に関する相談】 ・被害者（相談者）に対し、国民健康保険加入に関する相談を実施	保険医療年金課
				【生活再建への支援】 ・市営住宅、民間住宅への入居支援 ・生活保護の申請支援 ・各種保険や手当の活用 ・就業に関する情報提供 ・ハローワークとの連携	地域共生推進課
				【生活保護等による支援】 ・DV 被害者からの生活保護の相談に応じるとともに、必要に応じ関係機関と調整 ・住居の確保や家具什器の支給等 ・庁内設置のハローワークと連携し、就労支援を実施 ・生活保護の相談件数 1,160 件（うち、DV 関連 4 件。うち、保護申請件数 1 件）	生活支援課
				【母子生活支援施設入所世帯の継続支援】 ・入所世帯（令和 5 年度中退所世帯含む）4 世帯	こども家庭支援課
				【市営住宅入居への支援】 ・単身者（一人）向けの住宅募集に DV 被害者の申込資格を設け、公募を実施	住宅政策課
				【関係機関との連携】 ・家庭に問題を抱える児童生徒やその保護者に対して相談支援を行うとともに、必要に応じて関係機関と連携を図り、生活再建への支援を実施	学校教育課
21	DV 被害者支援の連携体制の強化	1	庁内の連携体制の強化	【関係部署との連携】 ・ケース会議で情報共有し連携 ・マニュアルを活用した支援の実施	地域共生推進課
		2	関係機関・民間団体等との協力・連携	【関係機関との連携】 ・他自治体への情報提供	地域共生推進課

22	ストーカー・性犯罪等防止対策と被害者への支援	1	ストーカー・性犯罪等防止に関する情報提供と学習機会の提供	【チラシの配布】 ・市内高等学校1年生に性暴力被害防止チラシを配布 2,535部 ・「ママの文化祭」への出展 18—1参照	多様性社会推進課
		2	相談窓口の周知	【相談窓口の周知】 ・若年層の性暴力被害予防月間に合わせて広報4月号で周知、図書館とレディヤンかすがいで図書展示 ・相談窓口カードを公共施設等の女性トイレに設置 ・市内高等学校1年生に性暴力被害防止チラシを配布 22—1参照 ・国の男女共同参画週間、女性に対する暴力をなくす運動週間に合わせ相談窓口の情報を発信	多様性社会推進課
23	セクシュアル・ハラスメントへの対策の推進	1	セクシュアル・ハラスメントが起きない職場環境づくりの推進	【出前講座の開催】 ・春日井市内子どもの家職員対象 受講者 120名 ハラスメントしない、させない職場環境づくりについて学ぶ 【情報提供】 ・ハラスメントのない職場づくりをテーマとした、講師派遣事業の案内チラシなど、各機関の情報を窓口に設置し周知	多様性社会推進課 経済振興課
基本的施策② 人権の尊重と困難を抱える人への支援					
No	取組	No	主な内容	令和5年度の実績	課
24	性の多様性への理解促進	1	性的マイノリティ（LGBTQ）への理解のための啓発	【職員研修の実施】 ・新規採用職員を対象とする階層別研修の1テーマとして、LGBTQに関する基本的な知識を習得	人事課
				【啓発】 ・職員研修の実施 ・LGBTQパンフレットの配布 ・中部大学アプリ（ダウンロード数約3,000件）でLGBTQパンフレットを配信 ・LGBTQ施策意見交換会への参加により意識啓発の方法などを情報収集（1回） ・男女共同参画情報紙「はるか」での周知 ・LGBTQフレンドリー企業登録 LGBTQに配慮した取り組みを行っている企業を登録し、取り組みをホームページで周知（登録数7件） ・写真展示 市民団体による写真展示「トランスジェンダーのリアル」をレディヤンかすがいにおいて開催	多様性社会推進課
				【啓発】 ・各学校の養護教諭を対象にLGBTQについて理解を深めた	学校教育課
		2	パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の導入	【宣誓の受付】 ・宣誓件数 8件 【連携協定の締結】 ・県内20自治体での連携協定の締結	多様性社会推進課
		3	中学校の新しい制服の導入	【新しい制服の導入】 ・性別にかかわらず着用できるブレザータイプの制服を、既存の制服に追加して選択できる形で、令和5年度から導入	学校教育課

25	高齢者・障がい者への支援	1	一人ひとりの状況に応じた関係各課・関係機関の連携による相談支援と情報の提供	【一般相談から関係各課へ案内】 ・状況に応じて支援につなげられるよう関係課へ案内 116 件	市民生活課
				【状況に応じた相談の実施】 ・必要に応じてカンファレンスを開催 ・その人に合ったサービスを調整し、寄り添った支援を実施 ・必要に応じて男性職員、女性職員で対応	社会福祉協議会
				【相談支援事業の実績】 ・障がい者生活支援センター 5 か所 相談件数 10,776 件 基幹相談支援センターしゃきょう、春日苑障がい者相談支援センター、障がい者生活支援センターかすがい、障がい者生活支援センターJHN まある、障がい者生活支援センターあっとわん	障がい福祉課
26	ひとり親家庭への支援	1	ひとり親家庭相談の実施	【母子・父子家庭自立相談の実施】 ・相談日時 月～金曜日 午前9時～午後5時	こども家庭支援課
		2	母子父子寡婦福祉資金等の貸付やホームヘルパーの派遣などの生活支援の実施	【福祉資金貸付の窓口】※福祉資金貸付は愛知県事務 ・相談日時 月～金曜日 午前9時～午後5時 【ヘルパーの派遣】 ・相談日時 月～金曜日 午前9時～午後5時	こども家庭支援課
		3	給付金の支給などの就業支援の実施	【給付金の支給】 ・春日井市自立支援教育訓練給付金 5 件 ・春日井市高等職業訓練促進給付金 10 件 ・春日井市高等職業訓練修了支援給付金 5 件	こども家庭支援課
27	在住外国人への支援	1	外国人のための相談の実施	【外国人相談の実施】 ・第1～4水曜日 午前9時～正午、午後1時～4時 ・相談員は、春日井国際交流会・KIF から派遣（委託契約）	市民生活課
		2	外国語による生活情報の提供	【外国語による情報提供】 ・「インフォメーション春日井」の作成 ・市ホームページで英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、韓国語への自動翻訳機能を提供 ・広報春日井電子ブック版で、9言語（英語、中国語（簡体字）、中国語（繁体字）、韓国語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語）に対応した多言語表示機能や音声読み上げ機能を提供	広報広聴課
				【外国語による情報提供】 ・「春日井くらしのガイド」を作成し、国際交流ルームの他、戸籍住民課窓口等で設置・配布（翻訳言語）英語、ポルトガル語、中国語、フィリピン語、スペイン語、ベトナム語 ・翻訳された各種行政資料を国際交流ルームへ配架、情報提供	多様性社会推進課
		3	多言語音声翻訳機の活用	【多言語音声翻訳機の配備】 ・国際交流ルームに多言語音声翻訳機を配備、市民応対に活用	多様性社会推進課

基本的施策③ ジェンダーの視点からの防災の取組					
No	取組	No	主な内容	令和5年度の実績	課
28	防災活動への男女共同参画の推進	1	地域防災活動への女性の参画拡大	【春日井市防災会議の開催】 ・春日井市防災会議委員数 49名（女性5名） 【外国人向け地震講習会】 ・参加者数 32名	市民安全課
				【女性消防団による活動】 ・救命講習指導、避難所運営訓練、防火、消防団加入促進広報 ・令和5年度末の団員数 153名中女性17名（13%）	消防総務課
				【安否確認訓練の実施】 ・年齢、性別を問わず参加しやすい安否確認訓練の実施を促進。 令和5年度は53の自主防災組織が訓練を実施	消防救急課
		2	ジェンダーの視点を取り入れた避難所運営マニュアルの周知	【避難所運営マニュアルの周知】 ・避難所運営マニュアルのホームページでの周知 ・防災講話での市民への周知 10回	市民安全課
		3	災害時要援護者への支援体制の構築	【支援体制の構築】 ・災害時要援護者支援制度登録者数 876名 ・水防訓練・総合防災訓練において制度に関するPRを実施	福祉政策課
		4	災害時を想定した訓練の実施	【安否確認訓練の実施】 28－1参照	消防救急課
		5	消防訓練動画の配信	【消防訓練動画の配信】 ・災害対応資器材の取扱い方法を学べる機会として、性別によらず利用しやすいYouTubeの春日井市公式動画チャンネルにて、自主防災組織等に向けた消防訓練動画を継続して配信	消防救急課
		6	ジェンダーの視点による災害対策の構築のための連携	【情報の共有】 ・独立行政法人国立女性教育会館主催の「男女共同参画の視点による災害対応研修（オンライン）」を受講し、内容を共有 【啓発の実施】 ・男女共同参画情報紙「はるか」3月号特集「ジェンダー、多様性の視点からの防災」を共同で作成し、啓発	市民安全課、多様性社会推進課
基本的施策④ ライフステージに応じた健康づくり支援					
No	取組	No	主な内容	令和5年度の実績	課
29	育児相談・保健指導の充実	1	育児相談の実施	【育児相談（電話・面接）事業の実施】 ・すくすくメール相談 4件、交通児童遊園 29件、児童センター 56件、グルッポふじとう児童館 349件、東部子育てセンター 195件、子育て応援広場キッコロ 60件	子育て推進課
				【育児相談（電話・面接）事業の実施】 ・受付 火～日曜日 午前9時～午後6時 ・年間の相談件数 198件（女性191名 男性8名）（電話35件 面接164件）	子育て子育て総合支援館
				【子育てに関する相談事業の実施】 ・認可保育園公私立全園で実施（月～金曜日 午前9時30分～午後4時） 相談件数 電話11件 面接320件 ・春日井市子育て支援センター（月～金曜日 午前9時～午後4時） 相談件数 電話23件 面接14件	保育課

				・神屋子育て支援センター（月～金曜日 午前9時～午後4時） 相談件数 電話2件 面接90件	
		2	子育て家庭訪問事業の実施	【家庭訪問の実施】 ・こんにちは赤ちゃん 訪問1,958件、訪問員46名 ・子育て家庭訪問支援事業（委託）訪問件数 32件	こども家庭支援課
30	心身の健康保持・増進のための環境整備	1	妊娠出産期・産後における健康支援	【「母と子のしおり」配付（妊産婦・新生児聴覚検査・乳児等健診票綴り）】 ・配付数 2,455件 【相談事業の実施】 ・妊婦訪問 106件、新生児訪問 971件、未熟児訪問 194件、乳児訪問 92件 ※産後うつスクリーニングの目的で「エジンバラ質問紙」を実施 実施数 1,092件	こども家庭支援課
		2	心身の健康づくり事業の実施	【健康づくり事業の実施】 ・2023！レクスポ&ウォーク祭 参加者 456名 ・かすがい！スポーツフェスティバル 参加者 6,085名 ・学校体育施設の開放 小中学校体育館 52校 中学校武道場15校 利用者数 延べ 292,956名 市内県立学校運動場等 8校 利用者数 延べ1,607名 ・スポーツ推進委員 67名（女性19名、男性48名、小学校区1～2名程度） ・夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会 参加者 1,020名 ・ラジオ体操！チャレンジ宣言 参加者 5,737名	文化スポーツ振興課
				【健康講座等】 ・健康づくり講座 127回 3,109名 ・歩こうマップウォーキング 13回 320名 【食育の推進】 ・出張料理教室 7回 134名 ・食生活改善推進員養成 14名 ・巡回型食育啓発 21回 261名 【啓発事業】 ・がん検診啓発 8事業 ・自殺予防啓発 9事業 ・禁煙啓発 11事業 ・幼児防煙教室 38回 1,183名 【かすがい健康マイレージ】 ・チャレンジシート配付数 9,269枚 ・あいち健康づくり応援カードまいか交付数 477枚 【助成】 ・禁煙外来治療費助成 17件	健康増進課
		3	各種検診（健診）事業の実施	【暫定値】 ・特定健診実施率 37.8%（12,853名）（女性7,351名、男性5,502名） ・特定保健指導実施率 32.4%（420名）（女性142名、男性278名） 【個別検診の実施】 ・胃がん 7,693名（女性4,018名、男性3,675名） ・大腸がん 17,346名（女性9,807名、男性7,539名）	保険医療年金課 健康増進課

				・子宮がん 9,834 名（女性） ・乳がん 8,967 名（女性） ・肺がん 20,658 名（女性 11,864 名、男性 8,794 名） ・前立腺がん 8,488 名（男性） ・肝炎ウイルス検診 897 名（女性 478 名、男性 419 名） ・生活保護検診 226 名（女性 110 名、男性 116 名） ・ピロリ菌検査 248 名（女性 104 名、男性 144 名） ・胃がんリスク検診 670 名（女性 367 名、男性 303 名） 【集団検診の実施】 ・人間ドック 9,107 名（女性 4,545 名、男性 4,562 名） ・脳ドック 1,317 名（女性 764 名、男性 553 名） ・乳がん 2,886 名（女性） ・子宮がん 2,057 名（女性） ・前立腺がん 3,400 名（男性） ・胃がんリスク検診 991 名（女性 546 名、男性 445 名） ・骨密度検査 4,649 名（女性 2,464 名、男性 2,185 名） ・ヤング検診 320 名（女性 251 名、男性 69 名） ・乳がんバス検診 617 名（女性） ・子宮がんバス検診 436 名（女性）	
31	性差を考慮した 相談体制の充実	1	健康相談・保健指導 の実施	【健康相談の実施】 ・健康相談（身体） 94 件（女性 54 件、男性 40 件）	健康増進課
		2	メンタルヘルス相 談の実施	【メンタルヘルス相談】 ・精神科医師（面談）18 件（女性 9 件、男性 4 件） ・臨床心理士（面談）24 件（女性 18 件、男性 8 件） ・精神保健福祉士等による随時相談（面接・電話）250 件（女性 222 件、男性 32 件）	地域共生推 進課
		3	養護教諭、スクール カウンセラーなど による相談の実施	【相談事業の実施】 ・スクールカウンセラー派遣 小学校 29 校、中学校 14 校 年間 1 校あたり 90 時間程度 ・心の教室相談員派遣 小学校 31 校に週 3 回程度、4 校につい ては常駐化、2 校については時間を増やして実施 ・県スクールカウンセラー派遣 中学校 15 校、小学校 8 校を拠 点に希望校巡回 ・養護教諭の複数配置校 勝川小学校、小野小学校、不二小学校、 中部中学校、西部中学校、南城中学校、高蔵寺中学校 ・カウンセリング研修会（6 回：含スーパーバイズ） ・相談・担当者合同研修会（1 回） ・学校と保護者のかけはし事業 スクールソーシャルワーカー 5 名を配置	学校教育課
32	リプロダクティ ブ・ヘルス／ライ ツに関する意識 啓発	1	リプロダクティブ・ ヘルス／ライツの 周知	【研修の実施】 ・新規採用職員研修での周知	多様性社会 推進課
				【学習機会の提供】 ・各学校の養護教諭を対象に LGBTQ について学習 ・「いのちの学習 指導事例集」の手引書を活用し、各小中学校 における性教育を各学年の発達段階に応じて実施	学校教育課
		2	不妊検査、治療への 助成と支援情報の 提供	【助成の実施】 ・夫婦いずれかが市内に住所を有する期間に、対象となる治療を	こども家庭 支援課

				受けたもの（実績0件） ・助成額 自己負担額の2分の1で上限50,000円	
33	性・命に関する教育の充実	1	発達に応じた性・命に関する教育の実施	【性・命に関する教育】 ・各学校の養護教諭を対象にLGBTQについて学習 ・各学校で保健の授業や「いのちの学習」で、いのちの大切さや誕生の過程をはじめ、性についての教育を実施	学校教育課
		2	エイズや薬物乱用防止に関する教育の実施	【エイズや薬物乱用防止の教育】 ・各小学校において、学級活動や保健指導などを通じ、学年に適した思春期教育を継続して実施 ・児童生徒の心や体の発達状態に応じた性教育の課程において、エイズについても適切な行動が取れるよう指導 ・各学校で警察・学校薬剤師による出前授業等も含め、学校保健委員会などで、薬物乱用防止に関し学習	学校教育課

基本目標Ⅲ 多様性を認め合える社会

基本的施策① アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）解消に向けた啓発

No	取組	No	主な内容	令和5年度の実績	課
34	男女共同参画推進のための意識づくりと慣習・慣行の見直しの促進	1	広報やホームページによる、男女共同参画に関する意識啓発	【広報による啓発】 ・98,000部発行 ・「人権」ってなんだろう 「誰か」のことじゃない。(12月号掲) 【男女共同参画情報紙「はるか」の発行】 ・形態 A4版、4ページ、2色刷り ・発行回数と部数 年2回、各14,000部 【国の男女共同参画週間における啓発（6月）】 ・パネル展示、図書資料PRコーナーの設置（レディヤンかすがい、図書館） ・市内公共施設でのポスター掲示 【男女共同参画推進月間における啓発(11月)】 ・広報春日井11月号 特集記事「ワーク・ライフ・バランス 十人十色の充実した人生を」 ・市政だより（ケーブルテレビ）での情報発信（広報春日井11月号の特集記事と連動） ・パネル展示（市内公共施設、レディヤンかすがい） ・図書資料PRコーナー設置（レディヤンかすがい、図書館） ・かすがい男女共同参画市民フォーラムの開催 12-3 参照 【ワーク・ライフ・バランス啓発パンフレットの活用】 ・市内公共施設に設置、ホームページに掲載 【男女共同参画啓発パンフレットの配布】 ・配布先 市内中学1年生 配布部数 2,768部	広報広聴課 多様性社会推進課
		2	男女共同参画に関する国内法令・国際条約の周知	【職員研修の実施】 ・新規採用職員を対象とする階層別研修の1テーマとして、男女共同参画社会基本法をはじめとする関連法令などに関する基本的な知識を習得 【春日井市ホームページでの法令の周知】 ・女性活躍推進法や男女雇用機会均等法などの法令等をホームページで周知	人事課 多様性社会推進課

				【窓口での法令の周知】 ・労働基準法、パートタイム労働法などの情報を窓口を設置	経済振興課
		3	男女共同参画の視点を持った市民活動団体との協働事業の実施	【第22回かすがい男女共同参画市民フォーラムの開催】 12-3 参照	多様性社会推進課
		4	市内事業者団体等への情報の提供	【情報の提供】 ・男女共同参画情報紙「はるか」の配布 ・春日井商工会議所のメールマガジンで情報を提供 【講座の開催】 ・中小企業のための女性活躍推進セミナー 1-1 参照	多様性社会推進課
				【窓口での法令の周知】 ・男女共同参画推進のためのチラシなど、各機関の情報を窓口設置し周知	経済振興課
35	男女共同参画拠点施設（レディヤンかすがい）の事業の充実	1	地域における男女共同参画意識の普及のための学習機会の提供	【関連図書等の購入】 ・45冊 【講座等の開催】 ・レディヤン講座 23講座 38回 延べ受講者 377名（女性264名、男性113名） ・男女共同参画セミナー 9回 延べ受講者 598名 【レディヤン祭の開催】 ・参加団体 22団体 来場者 530名	多様性社会推進課
		2	男女共同参画に関する資料の収集・提供	【資料の収集と設置】 ・国、県及び他市などが発行する男女共同参画関連の女性問題に関する資料を収集し、図書コーナー等に設置	多様性社会推進課
		3	女性向け相談の実施	【相談事業の実施】 ・女性の悩み相談 相談件数 871件 ・女性のための法律相談 相談件数 91件	多様性社会推進課
		4	男性向け相談窓口の情報提供	【情報提供】 ・愛知県が設置している相談窓口の情報をHPで周知	多様性社会推進課
基本的施策② ジェンダー平等の視点に立った教育・学習の推進					
No	取組	No	主な内容	令和5年度の実績	課
36	子どもの頃からのジェンダー平等の理解と促進	1	人権尊重に関する意識の啓発	【人権教室の実施】 （各1回） 下津保育園 年長28名、牛山保育園 年長17名、桜が丘幼稚園 年長87名、大手小学校 4年生96名、出川小学校 4年生129名、中央台小学校 4年生23名	多様性社会推進課
		2	ジェンダー平等の視点に立った教育の推進	【養護教諭会での推進】 ・LGBTQについて理解を深め、小学校、中学校教育の中でジェンダーや固定的な性別役割分担意識を無意識のうちに伝達していないかを点検 【授業等での推進】 ・道徳の授業で児童生徒が男女平等について学ぶ機会を設定 ・日頃の学校生活や学校行事等における係決めや班編成の場面等で、固定的な性別役割分担にとらわれないように意識 ・体育の男女共習・人権教育の実施状況調査を行った 【男女混合名簿の導入】	学校教育課

			・小学校 38 校中 37 校・中学校 16 校中 15 校（小・中 1 校ずつは学校の特異性から学級で使用する名簿は作成していない。健康管理上の名簿のみ）	
	3	ジェンダー平等の視点を意識した、親子生涯学習講座の開催	【親子で参加できる講座の実施】 ・レディヤン講座「親子料理講座」、「親子ダンボール工作教室」（2 回）、「親子で楽しむアイシングクッキーレッスン」（2 回）、「お片付けのコツ」 総受講者 153 名	多様性社会推進課
			【講師発掘・登用事業】 ・マインドフル絵本と親子ヨガ 受講者 16 名（女性 12 名、男性 4 名） ・紙のステンドグラス「ローズウィンドウ作り」 受講者 18 名（女性 16 名、男性 2 名） 【大学連携講座】 ・東洋大学連携講座「親子の理科教室～にぼしを解剖して環境問題について考えよう」 受講者 30 名（女性 23 名、男性 7 名）	いきがい推進課
			【親子で参加できる講座の実施】 ・ホテルプラザ勝川シェフ presents 親子スイーツ教室 受講者 15 組 30 名（女性 12 名、女児 15 名、男性 3 名） ・にこにこ ♪わくわく ♪リトミック①② 受講者 79 組 158 名（女性 79 名、女児 52 名、男児 27 名） ・おやこでいっしょに ABC！①② 受講者 60 組 120 名（女性 60 名、女児 46 名、男児 14 名） ・ファミリー運動教室 受講者 18 組 49 名（女性 18 名、女児 15 名、男児 16 名） ・「若旦那と楽しむ、和文化ワークショップ」 受講者 15 組 31 名（女性 12 名、女児 10 名、男性 3 名、男児 6 名）	味美ふれあいセンター
			【親子で参加できる講座の実施】 ・秋の夜長を照らす～ガラスコップの手作りランタン～（1 回） 受講者 12 組（女性 12 名、女児 10 名、男児 3 名）	高蔵寺ふれあいセンター
			【親子で参加できる講座の実施】 ・ふれあい親子体操（8 回） 受講者 18 組 36 名（女性 18 名、男性 0 名、女児 10 名、男児 8 名） ・ふれあい親子体操（8 回） 受講者 34 組 67 名（女性 33 名、女児 15 名、男児 19 名）	南部ふれあいセンター
			【親子で参加できる講座の実施】 ・夏休み子ども劇場 参加者 19 名（女性 7 名、女児 7 名、男児 5 名） ・親子講座「親子スイーツクッキング」（3 回） 参加者 11 組 24 名（女児 19 名、男児 5 名） ・親子講座「かわいい恵方巻き寿司づくり」 参加者 12 組 25 名（女性 10 名、男性 2 名、女児 11 名、男児 2 名） ・親子パン教室「ホームメイドのパンを作ってみよう！」①②（全 2 回） 参加者 19 組 40 名（男性 2 名、女性 16 名、女児 13 名、男児 9 名）	西部ふれあいセンター
			【親子生涯学習講座の開催】 ・親子パン・お菓子作り講座 全 15 講座 受講者 118 組 236 名（女 195 名、男 41 名）	知多公民館

			・親子アイシングクッキー講座 全4講座 受講者 57組114名（女107名、男7名） ・ゼリーにお花が咲いた！かわいいフラワーゼリーを作ろう 全2講座 受講者 16組34名（女27名、男7名） ・親子ふれあい体操 全8回×2 受講者 42組83名（女61名、男22名） ・運動能力を高め、姿勢がよくなる「キッズヨガ」 全2講座 受講者 80名（女60名、男20名） ・親子で楽しく！バランスボール 受講者 8組16名（女15名、男1名）	
			【親子で参加できる講座の開催】 ・親子でチャレンジ！みそだまづくり 受講者 8組16名（女性7名、男性1名、女兒6名、男児2名） ・親子でダンボール工作！コロコロタワーをつくって遊ぼう 受講者 10組20名（女性5名、男性5名、女兒4名、男児6名） ・親子で楽しくクッキング！夏休みのランチづくり（2回） 受講者 ①8組16名（女性7名、男性1名、女兒6名、男児2名）、②8組16名（女性8名、女兒5名、男児3名）	坂下公民館
			【親子で参加できる講座の開催】 ・親子で学ぶお片付け教室 受講者 10名（女性6名、男性4名） ・親子でたのしいアイシングクッキー 受講者 22名（女性19名、男性3名） ・親子で仲良くカボチャのシフォンケーキ作り 受講者 32名（女性27名、男性5名） ・親子でイングリッシュ①（4回）受講者 18名（女性16名、男性2名） ・親子でイングリッシュ②（4回）受講者 8名（女性6名、男性2名） ・親子 de バランスボール（3回）受講者 20名（女性18名、男性2名） ・親子で仲良くクリスマスケーキ作り 受講者 32名（女性26名、男性6名） ・親子で作るかわいい2色のお花パン 受講者 30名（女性24名、男性6名）	東部市民センター
	4	多様な進路選択を可能にするキャリア教育の推進	【個性に応じた進路指導の充実】 ・一人ひとりの適性などを配慮した中学校の進路指導を実施 ・職種について、男女の固定概念にとらわれないように指導し、中学校の職場体験学習を実施 【職場体験学習の充実】 ・中学校の職場体験の充実（各学校の実情に応じて実施） ・生徒の希望を取り入れ、業種や地域の枠を広げた体験事業所を選定 ・体験後のまとめの学習について、工夫 【キャリア教育の充実】 ・特定の学年だけではなく中学校1年生から3年生の全学年でキャリア教育を行うように計画・実施	学校教育課

				・社会人・職業人から話を聞く機会を増やし、職業観を育成 ・オンラインを活用した講話会等の機会の確保	
		5	女子生徒の理工系進路選択を促す情報提供や啓発の実施	【セミナー等の開催】 ・わいわいカーニバルへの出展 中部大学科学物理実験会の協力により出展、割れにくいシャボン玉づくりを体験 ・サイエンスフェスタ 来場者 760 名 市内高等学校、中部大学のクラブ、企業が出展し、レディヤンかすがいの会議室等に実験ブースを設置 ・男女共同参画セミナー「理工系のお仕事体験セミナー」 LION と連携し、オンラインでの実験教室や研究員との座談会等を実施 受講者 6 名	多様性社会 推進課
37	ジェンダー平等の視点に立った学習機会の提供	1	ジェンダー平等の視点に立った講座の開催	【レディヤン講座の開催】 ・女性のための相続講座～相続問題で困らないために～ 受講者 10 名（女性 10 名） ・子育て講座～我が子との出会いを大切にしたい～ 受講者 5 名（男性 0 名、女性 5 名）	多様性社会 推進課
		2	男女共同参画セミナーの開催	【男女共同参画セミナーの開催】 ・春日井工科高等学校での出前講座（男女共同参画、デートDV、自分らしい進路選択） 延べ受講者 20 名 ・えがお先生のパパ写真セミナー 13－1 参照 ・理工系のお仕事体験セミナー 36－5 参照 ・春日井市内子どもの家職員出前講座 23－1 参照 ・雅楽の魅力を知ろう（曲の演奏、楽器の説明、雅楽の楽しみ方） 受講者 14 名 ・地域子育て支援拠点職員への出前講座（ジェンダーに関するアンコンシャス・バイアスについて） 受講者 10 名 ・春日井高等学校全日制課程での出前講座（ジェンダーに関するアンコンシャス・バイアスについて） 受講者 325 名 ・LGBTQ の理解研修（職員向け） 24－1 参照	多様性社会 推進課
38	教育・保育に携わる者や市職員に対するジェンダー平等意識の浸透	1	教職員への研修の実施	【初任者研修の実施】 ・社会体験型研修（保育園研修）（中止） 【養護教諭研修の実施】 ・「性教育」についての研修（講演会）	学校教育課
		2	保育従事者への研修の実施	【研修の実施】 ・男女共同参画課（現：多様性社会推進課）が実施した LGBTQ の理解を深める研修に保育士を派遣 受講者 8 名	保育課
		3	市職員への研修の実施	【職員研修の実施】 ・新規採用職員を対象とする階層別研修の 1 テーマとして、性別に基づくアンコンシャス・バイアスの認識と多様性を認めあう社会の重要性を周知	人事課
				【職員研修の実施】 ・新規採用職員研修 男女共同参画プランに基づき講義 ・全職員対象 LGBTQ（性の多様性）の理解研修	多様性社会 推進課

基本的施策③ ジェンダー平等の視点に立った表現の推進					
No	取組	No	主な内容	令和5年度の実績	課
39	メディアリテラシーの向上	1	研修やホームページ等によるメディアリテラシーの普及・啓発の推進	【職員研修の実施】 ・新規採用職員研修 【啓発チラシの作成、配布】 ・性暴力被害防止のチラシを市内高等学校1年生に配布し、SNSでの被害について注意喚起 配布部数 2,535部	多様性社会推進課
		2	教育現場での講座等によるメディアリテラシー教育の実施	【小中学校の情報教育の充実】 ・コンピュータ等を用いて、情報活用能力の育成に努めた(市内全小中学校で実施) 【情報モラル講座の開催】 ・各校の実情に応じ、児童生徒、保護者を対象として、様々なメディアから配信される情報の扱い方などの講座実施を推進	学校教育課
40	行政情報紙・刊行物などにおける性差別表現の排除	1	市発行物等の表現における「男女共同参画の視点からの公的広報の手引」の周知徹底	【手引きを用いた広報の見直し、点検】 ・表現が男女いずれかに偏っていないか、性別によってイメージを固定化していないかなど、男女対等な視点で、具体的表現やイラスト・写真での描写を見直し・点検 【職員への周知】 ・内閣府男女共同参画局作成の「男女共同参画の視点からの公的広報の手引」(平成15年3月)を文書管理に登録 ・表現の例、記入例などを掲載した「男女共同参画」職員研修マニュアルの第6部研修等へ活用を促進 ・新規採用職員研修での周知	広報広聴課
		2	刊行物における性差別表現をなくするための事業者への意識啓発	【事業者への啓発】 ・LGBTQパンフレット等で性別に偏らない表現について啓発	多様性社会推進課